

## 会員のグループによる自主企画助成 募集要項

日本社会教育学会は、「会員のグループによる自主企画助成（以下、会員自主企画助成）」制度を持っています。「会員自主企画助成」は、3人以上の会員によって構成されるグループが、開かれた研究交流の促進と、学会の研究活動の一層の活性化を目的として自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなどの学習・研究活動）を行う際に、学会として助成を行うものです。これにより、多様な会員に開かれた研究交流の場を組織し、学会全体の研究活動が活性化することを目指しています。締め切りは2026年5月10日（日曜日）です。奮ってご応募ください。

本制度による助成を希望する会員は、募集要項に基づき、申請書を学会事務局メール宛に添付ファイルで提出してください。申請書様式は学会ホームページに掲載されています。

- 目的：会員相互の研究交流の促進と学会における研究活動の活性化。
- 内容：①自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなど学会員にひらかれた学習・研究活動）を研究大会・六月集会以外の時期に1回実施する（必ず学会メールニュース等にて会員に周知する。オンライン開催も可）、②自主企画の実施内容について助成を受けた翌年刊行の『社会教育学研究』にて報告する。

- 今年度のスケジュール

応募締め切り	採択先・助成額の	会員に開かれた	翌年刊行の『社会教
<b>5月10日</b>	⇒ 決定・通知	⇒ 自主企画の実施	⇒ 育学研究』で報告
	6月1日以降	(6月集会・大会時以外)	

- 助成金額：1件あたり10万円を上限とする申請方式  
予算案を踏まえて支出額を決定するため、応募時に予算案を提出してください。なお、支出可能な費目は、会場賃借料、交通費・宿泊料（グループメンバー分含む）、謝礼金（非会員の場合）、消耗品（記録作成経費含む）などです。※各グループには、企画実施後に会計報告（様式任意）を提出していただきます。
- 応募資格：3人以上の会員によって構成されるグループ  
なお、応募多数の場合は、予算枠（年間20万円）上限として採択を行います。その際は、①年齢の若い人、②正規雇用職にない人、③学会加入年数の短い人の順に人数の多いグループを優先します。多様な会員に開かれた研究交流を促進するという主旨を踏まえ、所属機関、職業、性別、エスニシティなどに多様性のあるグループ構成となることを期待します。申請書に、「グループメンバーの特徴」として、この点に関する説明を付してもらいます。

- **応募締め切り：5月10日（必着）** 採用予定者を **5月20日の全国理事会で決定**後、公表する。
- 申請書：学会ホームページに掲載
- 本件に関するお問い合わせ先：学会事務局 jssace.office@gmail.com

\*詳細は、日本社会教育学会サイトの「会員研究支援」をご覧ください。

参考資料：表 2025 年度の実績

企画名	日時	開催場所・方法（結果）
「ラウンドテーブル」社会教育施設概念のゆらぎを問う」	2026 年 2 月 11 日 13:30-17:00	世田谷産業プラザ 3 F 対面で事前申し込み 25 名